

平成18年度 施策評価シート

総合計画における位置付け等

平成18年11月1日記入

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	15210
政策名(章)	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります	評価担当部	生涯学習部
基本施策名(節名)	第2節 生涯スポーツ・レクリエーションの振興	評価担当課	スポーツ課
施策名	スポーツ・レクリエーション活動の促進	課長名	安本 喜忠

1 施策の目的・概要(目的はわかりやすく記入)

スポーツ・レクリエーション活動は、人々の健康の保持・増進、体力の向上、生きがいづくりなどの面で大きな役割を果たすとともに、人々との交流を深め連帯感を生みだし活力あるまちづくりの一助となる。このため、市民がいつでも、気軽にスポーツ・レクリエーション活動ができるよう、各種教室や大会等の拡充を図るとともに、多様な機会の提供に努め、地域スポーツ・レクリエーション活動を促進する。

市民は「楽しみ」、「健康」、「交流」の様々な目的からスポーツを行っている。その内容も軽い運動から競技性の強いスポーツまで非常に多様化し、市民それぞれの目的が達成されるよう様々な取り組みに努めてきた。しかしながら、地域における自主的・主体的なスポーツ活動の取り組みに対する施設等の需要に対しての対応が図れない状況もあり、生涯スポーツ社会の実現に向けた地域のスポーツ環境の整備充実が必要となる。

2 事業費・人員

年度	平成14年度(決算)	平成17年度(決算)	増減の主な理由
事業費		160,139	
人件費		36,998	
市民一人あたりの事業費	362	296	
合計	223,240	197,137	

*人件費は、職員一人あたり H14:839万円、H17:805万円として算定。人口は、61.6万人(H15.4.1現在) 66.7万人(H18.4.1現在)とした。

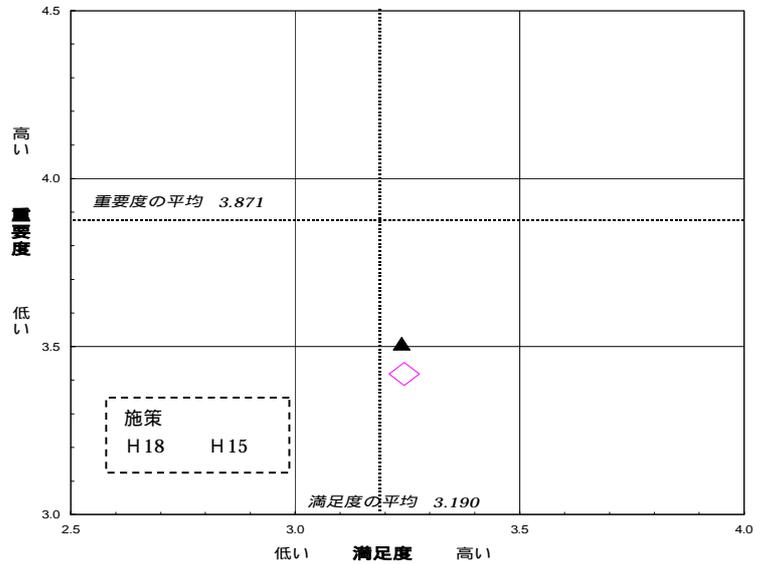
3 成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	基準値(単位)	基準年度
指標1	成人のスポーツ実施率 現状/目標×100	週に1日以上、運動・スポーツを行った人の割合。	25(%)	13
指標2	スポーツフェスティバル参加者数	体育の日に行うスポーツの象徴的事業であるスポーツフェスティバルの参加者数。	350(人)	17
指標3				
指標4				
指標5				

	H17目標値/実績値	中間年度	中間年度の目標値	最終年度	最終年度の目標値	目標値の考え方(根拠)
指標1	30	19	35(%)	21	40(%)	平成25年度までにスポーツ実施率を50%以上にする、相模原市スポーツ振興計画の目標に基づく。
達成率	28.4					
指標2	500	19	3,500(人)	21	7,500(人)	平成25年度に麻溝競技場の収容人数である15,000人を最終目標とし、それに基づく。
達成率	350					
指標3						
達成率						
指標4						
達成率						
指標5						
達成率						

4 市民満足度調査結果(平成18年度実施分)

この施策の満足度は3.243で51施策の中で16番目。
 重要度は3.418で49番目である。
 改善要望度は - 0.3579で49番目である。
 年齢別にみると、満足度、重要度ともに60歳代以上で高く、50歳代で満足度がもっとも低く、20歳代で重要度がもっとも低くなっている。
 前回調査と比較すると、満足度、重要度とも施策の順位に大きな違いはみられない。
 満足度の順位では、30、40歳代で前回調査より大幅に上がり、50歳代で大幅に下がっている。
 重要度の順位では、50歳代で前回調査より下がっている。



5 1次評価(3つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	それぞれの視点に対して評価の具体的根拠	
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4②1	「みんな元気!さがみはら」のキャッチフレーズで、市民まつりや街頭キャンペーンなどでのPRなど市民総ぐるみ健康づくり運動を展開したことにより、スポーツ講習会や市民体育祭、市民ウォーキング大会など各種事業で市民に健康を意識してもらうことができ、スポーツを実施してもらうのに有効であった。	
効率性	最少経費で最大効果が得られる事業構成となっている	4②1	市民ウォーキング大会や体育の日に行うファミリーオリンピックでは、市体育指導委員と市健康づくり普及員との人的資源の連携で、今まで行っていた体力づくりの要素だけでなく、健康づくりの効果も加えることができた。	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4②1	市民満足度調査結果に基づく、施策の満足度は51施策中16番目。スポーツ振興計画の基本理念である、「生涯スポーツ社会の実現」と「豊かなスポーツライフの実現」に向け、子どもから高齢者まで、誰もがスポーツを楽しむことができるよう取り組んだ。	
合計		6	評価結果に基づく区分(4項目の合計点数による) A(12から10点) B(9から5点) C(4点以下)	1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	年々生活様式の変化とともに、スポーツに対する考え方や種目が多様化しており、当初の計画どおり実施しても対応できない場合がある。
解決策	市民ニーズを把握し、スポーツフェスティバルなどの事業やスポーツ講習会などで、市民の誰もがスポーツに親しめるようなきっかけづくりを行えるように努めていく。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

課題にもあるとおり、市民ニーズを把握・分析しながらスクラップアンドビルドを行い、事業の効果を高める必要がある。	2次評価 B
---	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価
--	------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

